

大草谷津田いきもの里

ツマキチョウをさがそう

芳我めぐみ（千葉市）

日時：2009年4月19日（日）10：30～12：00 天候：晴れ

参加者：大人15名 子ども3名

担当指導員：和仁道大 芳我めぐみ

年1回春に姿を見せる「ツマキチョウ」をテーマに選び観察会を行いました。最初にツマキチョウの雄は棲が黄色の蝶であることを写真で説明しました。覚えてもらって現物を探しに出発です。ツマキチョウは谷津田脇の道、カントウタンポポの花で吸蜜していました。参加者に見せたいため補虫網でとらえカップに入れましたが、落ち着かずバタバタしていてゆっくり見るできません。カップから出すと、自分からタンポポにとまりじっくり姿を見せてくれました。棲が黄色の雄でした。作為するより蝶の行動を考え、自然のもとに観察することが大切なのだと改めて思いました。この蝶はタネツケバナの花に卵を産みつけ、孵った幼虫はタネツケバナの種子を食べることを説明しました。ツマキチョウを今年も大草で確認できてホッとし心安らぐ思いです。

この他、駐車場に群生しているカラスノエンドウとスズメノエンドウの観察、ムラサキケマンの種子に付いているエライオソームとアリの関係、シュレーゲルアオガエルのコーラス？と発泡スチロールのような卵塊。シオカラトンボとよく間違われるシオヤトンボもじっくり観察。春の大草谷津田は見るものが多く忙しいです。満開のウワミズザクラは素晴らしい香りでした。グルっと一回りの最後に杉林の林床にイチリンソウ、ニリンソウの群落を觀賞してこの日の観察会を終了しました。